



## 海外移住者子弟等研修生の研修の様子



▲ツール・ド・おきなわのボランティアスタッフ



▲エイサー研修



▲県立図書館にて自分の先祖について学びました!



▲三線制作の研修

## 守ります 火の用心



11月13日、金武地区公園で幼年消防クラブ防火フェスティバルが開催され、金武地区消防本部管轄内の幼年消防クラブが一堂に会しました。

フェスティバルでは新たにクラブに加入した5園へ認定書の交付を行い、園児全員で防火の誓いを唱えました。

その後、防火クスマ割りや消防車と園児による綱引き、かけっこが行われました。

## ブルデ・バスチアンさん 英検1級、準1級ダブル合格



ブルデ・バスチアンさんが2019年度第2回実用英語技能検定（英検）で大学上級レベルの1級と大学中級レベルの準1級にダブル合格しました。（受験当時10歳）

ブルデさんは「試験は長時間に及び大変だった。将来はギタリストになりたい」と話し、長浜村長は「今後も頑張ってもらいたい」と激励しました。

## 里海カンファレンスin恩納村2019



「里海の価値の協創」と「沖縄の地域特性を活かした里海づくり」をテーマに「里海カンファレンスin恩納村2019」が12月7日、沖縄科学技術大学院大学で行われました。

県内外から約180名が参加し、各団体の事例報告や基調講演、パネルディスカッションをとおして、「海洋教育としての里海づくり」や「沖縄の里海から協創のあるべき姿」について意見交換等が行われました。

県外からは岡山県日生（ひなせ）のアマモ場再生の取組み、県内では石垣島白保や慶良間諸島におけるサンゴ礁保全の取組みが報告されました。また、国外からコロンビア川流域におけるサーモン・セーフ認証の仕組みについて講演をいただきました。

地元恩納村からは、漁協のモズクとサンゴの養殖の関係性や恩納村コープサンゴの森連絡会が取り組む地域・生産者・消費者・加工メーカーの連携について、また、OISTによる環境学習について学生グループの活動が報告されました。

森里川海の豊かな自然環境を維持し、未来の子どもたちへ受け継いでいくことの重要性を再認識しました。また、各地の里海に共通する課題を共有し、これらの成果を広く世界に発信していくことが確認されました。

